

公益社団法人 日本船舶海洋工学会
平成23年度（第116期）事業報告
（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

平成24年5月15日 理事会承認

I 調査研究事業

【1】学術講演会

1. 春季講演会

平成23年5月19日～20日、福岡県中小企業振興センターにおいて、平成23年度春季講演会を開催した。全国から約300名の参加者のもと、一般公演（107件）、オーガナイズド・セッション（53件）、ポスターセッション（12件）の活発な発表・討論があり、懇親会（160名）を開催し、盛会裏に終了した。
なお秋季講演会は各支部ごとに開催した。

【2】論文集発行

1. 論文審査委員会

委員数：柏木 正委員長ほか23名

実施事項：

- ・日本船舶海洋工学会論文集第13号、第14号の論文審査
- ・平成24年度日本船舶海洋工学会賞(論文賞)および奨励賞の選考

2. 日本船舶海洋工学会論文集刊行

表1-1のとおり日本船舶海洋工学会論文集第13号を平成23年6月に、第14号を平成23年12月に発行した。

表1-1 日本船舶海洋工学会論文集刊行

	論文数	頁数	発行部数
論文集第13号 (平成23年6月)	28	275	1,000
論文集第14号 (平成23年12月)	19	189	1,000
計	47	464	2,000

【3】英文論文集 (Journal of Marine Science and Technology) の発行

1. JMST 編集委員会

委員数：藤久保昌彦委員長ほか34名

委員相互の書面交信等により下記の事項を実施した。

実施事項：

- ・JMST Vol.16 No.2～Vol.17 No.1の論文審査と論文掲載

2. JMST 刊行

JMST Vol.16 No.2～Vol.17 No.1の4冊を表1-2のとおり発行した。

表1-2 英文論文集(JMST)刊行

	論文数	頁数	発行部数
Vol.16 No.2 (平成23年6月)	9	125	550
Vol.16 No.3 (平成23年9月)	10	125	550
Vol.16 No.4 (平成23年12月)	10	125	550
Vol.17 No.1 (平成24年3月)	9	124	550
計	38	499	2,200

【4】研究委員会活動

1. 研究企画委員会

委員数：重見利幸委員長ほか13名

研究企画委員会を以下のとおり開催し、下記を実施した。

回	期日	場所	出席者数	報告件数
第19回	2011.4.4	学会会議室	5名	5件
第20回	2011.8.2	日本海事協会	9名	7件
第21回	2011.12.1	日本海事協会	8名	6件

実施事項：

- ・分野研究活動の報告及び検討
- ・新規研究委員会の設置に関する審議
- ・分野研究企画部会、研究会等の予算に関する審議
- ・総合的な研究活性化策及び研究戦略の検討

2. 分野研究企画部会

性能・運動分野

委員数：日夏宗彦委員長ほか9名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者、オブザーバ数
第16回	2011.6.2	東大柏キャンパス	14名
第17回	2011.10.20	神戸大深江キャンパス	13名
第18回	2012.2.7	九州大伊都キャンパス	12名

実施事項：

- ・推進性能・運動性能合同研究会の企画、実施
- ・新規研究委員会立ちあげテーマの審議

海洋工学・海洋環境分野

委員数：大塚耕司委員長ほか11名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数
第18回	2011.4.1	鹿児島大学	8名
第19回	2011.7.26	大阪府立大学	7名
第20回	2011.11.29	東京大学	10名
第21回	2012.3.29	九州大学	9名

実施事項：

- ・海洋工学・海洋環境合同研究会の企画、実施
- ・第22回海洋工学シンポジウム（2011.8.2～3）の開催

構造・強度、材料・溶接分野

委員数：栗飯原周二委員長ほか8名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数
第1回	2012.3.14	学会会議室	8名

実施事項：

- ・支部研究会との情報交換と協力
- ・新規研究委員会およびシンポジウムに関する討議

設計・艤装分野

委員数：荒井誠委員長ほか10名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2011.10.6	広島大学	7名	2件

実施事項：

- ・造船設計シンポジウム（2011.10.6）の開催
- ・総合的な研究活性化策について討議

工作分野

委員数：後藤浩二委員長ほか8名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2011.9.1	新大阪丸ビル	7名	2件
第2回	2011.10.25	IHI MU 呉工場	7名	2件
第3回	2011.11.25	日本船舶海洋工学会	7名	8件

実施事項：

- ・建造革新研究会各ワーキンググループの進捗確認及び活動方針検討

情報技術分野

委員数：青山和浩委員長ほか10名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2011.5.24	IHI-MU 呉工場	10名	2件
第2回	2011.9.28	横浜国立大学	10名	2件
第3回	2011.11.29	東京大学本郷キャンパス	10名	2件
第4回	2012.1.24	川崎重工業 坂出工場	10名	2件

実施事項：

- ・プロジェクト研究委員会纏めに関する審議
- ・シンポジウム開催に関する審議
- ・次期プロジェクト研究会に関する審議

3. プロジェクト研究委員会

今期は11件のプロジェクト研究委員会を実施した。このうち今期に活動を終了した研究委員会は8件（P-23、P-24、P-25、P-26、P-27、P-28、P-29、P-32）である。今期の委員会活動は以下のとおりである。

P-23 東アジア物流ネットワーク研究委員会

委員数：末岡英利委員長ほか9名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数
第13回	2011.6.3	東京大学	13名
第14回	2011.7.8	東京大学	13名

実施事項：

- ・東アジア物流の現状・将来動向調査
- ・モデルケース設定・最適化検討
- ・東アジア物流ネットワーク将来像提言（IT化）
- ・シンポジウム開催(2011.7.8)

P-24 強非線形流体・構造連成解析研究委員会

委員数：柏木正委員長ほか12名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第5回	2011.9.27	大阪大学	7名	6件
第6回	2011.12.16-17	九州大学応力研	35名	19件

実施事項：

- ・最近の研究成果に関する講演会と情報交換
- ・応力研研究集会「海洋エネルギー利用・海洋環境問題に関する力学問題」の合同開催と研究成果の講演

P-25 海洋の大規模利用に対する包括的環境影響評価普及推進研究委員会

委員数：大塚耕司委員長ほか15名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第30回	2011.7.25	大阪府立大学	3名	4件
第31回	2011.11.30	東京大学	4名	6件
第32回	2012.1.24	日本船舶海洋工学会	3名	2件

実施事項：

- ・KANRIN第38号への特集記事の掲載
- ・包括的環境影響評価Triple Iの普及のため情報発信
- ・ISOPE 2011 Triple I Session（2011.6.22）の開催
- ・第22回海洋工学シンポジウムIMPACTセッション（2011.8.3）の開催
- ・沿岸環境関連学会連絡協議会とのジョイントシンポジウム（2012.3.25）の開催

P-26 次世代造船システムの構想設計に関する研究委員会

委員数：梶原宏之委員長ほか42名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第5回	2011.5.24	IHI-MU 呉工場	25名	2件
第6回	2011.9.28	横浜国立大学	22名	2件

実施事項：

- ・アンケート結果の分析
- ・次世代造船システム開発のためのシーズ検討
- ・プロジェクト研究の纏めと今後の展開

P-27 弾性振動を含む動的荷重を考慮した船体強度評価に関する研究委員会

委員数：深沢塔一委員長ほか14名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第5回	2011.7.1	大阪府大中之島プラザ	10名	6件
第6回	2011.9.30	日本船舶海洋工学会	7名	4件
第7回	2011.12.2	ヴィアイン金沢	9名	2件

実施事項：

- ・船体強度評価および船体構造信頼性に関する技術動向の分析
- ・弾性振動を含む最大荷重推定法に関する比較計算実施
- ・講演会オーガナイズド・セッション「非線形波浪荷重とこれによる船体応答の推定及びその取り扱い」（2011.5.20）および「波浪中船体の構造応答」（2011.11.15）の開催。

P-28 ISO18072 シリーズ最終強度算式検証のための研究委員会

委員数：矢尾哲也委員長ほか14名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数
第10回	2011.4.19	大阪大学	14名
第11回	2011.6.1	大阪大学	13名
第12回	2011.9.9	大阪大学	13名

P-29 船舶操縦運動予測モデルの標準化に関する研究委員会

委員数：安川宏紀委員長ほか20名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第4回	2011.6.28-29	北海道大学	19名	14件
第5回	2011.11.28-29	海上技術安全研究所	15名	15件
第6回	2012.3.29-30	広島大学	16名	13件

実施事項：

- ・船舶操縦運動数学モデルの標準化に関する活動（追加水槽試験・流体力係数のデータベース化）

P-30 「次世代船舶を目指した艀装工作法の改善」研究委員会

委員数：篠田岳思委員長ほか19名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2011.7.7-8	九州大学 西新プラザ	19名	4件
第2回	2011.11.24-25	川崎重工業神戸	21名	4件
第3回	2012.3.15-16	IHIMU 横浜	25名	4件

実施事項：

- ・改善事例の報告
- ・トラブル事例の報告
- ・技術技能伝承の取り組み紹介

P-31 CFDによる船舶の省エネ性能評価研究委員会

委員数：日野孝則委員長ほか11名

委員会の開催状況

回	期日	場所	参加者数	発表等件数
第2回	2011.12.2	学会事務局	11名	3件
第3回	2012.1.27	学会事務局	9名	7件
第4回	2012.3.22	学会事務局	9名	6件

実施事項：

- ・新CFD手法の検証に使用可能な公表された流場データの調査
- ・CFDワークショップのテストケースとしての省エネデバイス付き船体まわり流場に関する検討

P-32 「大型船の係船装置の設計指針」研究委員会

委員数：荒井誠委員長ほか29名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数
第1回	2011.6.29	ウィリング横浜	7名
第2回	2011.7.21	日本海事協会	8名
第3回	2011.7.28	ウィリング横浜	8名
第4回	2011.10.7	広島大学学生会館	27名
第5回	2011.10.28	ウィリング横浜	8名
第6回	2011.11.25	ウィリング横浜	6名
第7回	2012.3.8	名村造船所(伊万里)	27名

実施事項：

- ・設計指針の審議とコメント処理
- ・報告書案のまとめと審議

P-33 「船上艀装装置の多様な駆動方式の選定指針」研究委員会

委員数：荒井誠委員長ほか29名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第1回	2011.5.13	三菱重工長崎造船所	6名	3件
第2回	2011.6.16-17	名村造船所(福岡)	6名	3件
第3回	2011.7.28-29	佐世保重工業	5名	4件
第4回	2011.8.29-30	佐世保重工業	6名	4件
第5回	2011.9.29-30	川崎重工業神戸造船所	5名	3件
第6回	2011.10.7	広島大学学生会館	27名	1件
第7回	2011.11.9-10	九大博多駅オフィス	6名	3件
第8回	2011.12.8-9	九大博多駅オフィス	5名	3件
第9回	2012.1.8-9	九大博多駅オフィス	6名	3件
第10回	2012.3.8-9	名村造船所(伊万里)	27名	1件

実施事項：

- ・アンケート調査分析とまとめ

- ・機器の評価手法に関する討議
- ・機器の価値評価の実施と結果評価の審議
- ・報告書案のまとめと審議

4. ストラテジー研究委員会

戦略的課題について研究する3つのストラテジー研究委員会を実施した。

S-7 摩擦抵抗低減研究委員会

委員数：戸田保幸委員長ほか11名

委員会の開催状況

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第8回	2011.4.22	学会事務局	9名	2件
第9回	2011.9.16	大阪大学	12名	4件
第10回	2011.12.9	学会事務局	9名	4件

実施事項：

- ・摩擦抵抗低減技術に関する文献調査
- ・摩擦抵抗低減効果に関する理論的検討
- ・摩擦抵抗計測法に関する調査

S-8 海洋環境戦略的管理研究委員会

委員数：村井基彦委員長ほか15名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第7回	2011.6.3	JAMSTEC	3名	1件
第8回	2011.7.25	大阪府立大学	4名	2件
第9回	2011.11.28	東京大学	4名	2件

実施事項：

- ・熱水鉱床の生物相に関する調査検討
- ・沿岸域における協同的海洋管理に関する調査検討
- ・海洋開発に関する海洋環境の管理に関するリスクツリーに関する調査検討

S-9 海洋立国基本戦略委員会

委員数：高木健委員長ほか8名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第5回	2011.7.22	大阪大学	5名	9件
第6回	2011.9.6	JAMSTEC 東京事務所	6名	9件
第7回	2012.3.5	大阪大学	5名	5件

実施事項：

- ・海洋開発のニーズとシーズのギャップ調査
- ・秋季講演会でのオーガナイズド・セッションの企画と実施
- ・報告書案のまとめと審議

5. 研究会

会員相互の情報交換および技術交流を支援促進するため各種研究会を設置し、研究発表およびシンポジウム等の活動を実施した。現在設置の研究会は次のとおりである；推進性能研究会、運動性能研究会、材料・溶接研究会、建造革新研究会、造船設計・生産技術研究会、海洋工学研究会、海洋環境研究会、情報技術研究会。

推進性能・運動性能合同研究会

会員：日夏宗彦会長、梅田直哉会長ほか

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第16回	2011.6.2-3	東京大柏キャンパス	55名	15件
第17回	2011.10.20-21	神戸大深江キャンパス	51名	13件
第18回	2012.2.7-8	九州大伊都キャンパス	44名	14件

実施事項：

- ・特別企画「IMOのパラメトリック横揺れ基準案を横揺れ減衰力から考える」
- ・推進性能分野の今後の研究課題に関するパネル討論
- ・運動性能分野の今後の研究課題に関するパネル討論
- ・その他一般研究発表と討議
- ・神戸大海事資料館および学会資料保存展示会見学
- ・九州大学水槽見学

材料・溶接研究会

会員：粟飯原周二会長ほか29名

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第16回	2011.8.4	東京大学山上会館	19名	3件
第17回	2011.12.20	東京大学山上会館	28名	3件
第18回	2012.3.14	東京大学山上会館	19名	5件

建造革新研究会

会員：後藤浩二会長ほか34名

回	期日	場所	出席者数	発表件数
総会	2011.6.27-28	大阪大学	35名	3件

WG1：

第1回	2011.10.16-17	三菱重工下関	17名	17件
第2回	2012.1.16-17	USC有明	17名	16件
第3回	2012.3.14-15	サノヤス水島	16名	14件

WG2：

第1回	2011.10.13-14	函館どつく	15名	8件
第2回	2011.12.8-9	IHI MU 呉	15名	15件
第3回	2012.3.15-16	常石	16名	14件

実施事項：

- ・現状の建造技術における工作精度標準調査 (WG1)
- ・溶接外観基準の見直し作業 (WG2)

造船設計・生産技術研究会

会員：荒井誠会長ほか

回	期日	場所	出席者数	発表件数
---	----	----	------	------

造船設計部会：

第114回	2011.10.7	広島大学学生会館	27名	4件
第115回	2012.3.8-9	名村造船所(伊万里)	27名	4件

船体艤装部会：

第18回	2011.7.7-8	九州大学西新プラザ	19名	4件
第19回	2011.11.24-25	川崎重工業神戸造船所	21名	4件
第20回	2012.3.15-16	IHIMU 横浜造船所	25名	4件

機関艤装部会：

第13回	2011.11.7-8	佐世保重工業佐世保	26名	9件
------	-------------	-----------	-----	----

電気艤装部会：

第11回	2011.10.27-28	ユニバーサル造船有明	26名	5件
------	---------------	------------	-----	----

実施事項：

- ・シンポジウム「船舶艤装設計における省エネルギー」を開催 (2011.10.6)

海洋工学研究会

会員：尾崎雅彦会長ほか99名

回	期日	場所	出席者数
第16回	2011.4.1	鹿児島大学	10名
第17回	2011.7.26	大阪府立大学	9名
第18回	2011.11.29	東京大学山上会館	12名
第19回	2012.3.29	九州大学箱崎キャンパス	17名

構造部会：

第23回	2011.6.17	東京大学本郷キャンパス	13名
------	-----------	-------------	-----

第24回 2011.10.3 東京大学本郷キャンパス 11名

第25回 2012.1.26 東京大学本郷キャンパス 13名

実施事項：

- ・新分野開拓のための調査派遣支援により、若手1名をOTC Brazilに派遣し、海底石油・ガス開発の技術動向を調査。

海洋環境研究会

会員：大塚耕司会長ほか73名

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第18回	2011.4.1	鹿児島大学	7名	5件
第19回	2011.7.26	大阪府立大学	6名	5件
第20回	2011.11.29	東京大学	9名	5件
第21回	2012.3.29	九州大学	9名	4件

実施事項：

- ・第6回 East Asian Workshop for Marine Environments (2011.10. 7-8) を共催。
- ・新分野開拓のための調査派遣支援により、若手1名をLOICZ 2011 Yantaiに派遣し、沿岸域環境管理に関する研究動向を調査。

情報技術研究会

会員：大和裕幸会長ほか42名

回	期日	場所	出席者数	発表件数
第18回	2011.5.23-24	IHI-MU 呉工場	23名	2件
第19回	2011.9.27-28	横浜国立大学	25名	2件
第20回	2012.1.23-24	川崎重工業 坂出工場	23名	4件
臨時	2012.3.6	川崎重工業 東京本社	19名	2件

【5】学術協力

1. Pan Asian Association of Maritime Engineering Societies PAAMES の 2nd International Standing Committee Meeting (台湾) と会議テーマに関連する Forum に谷口友一会長と深沢塔一理事を派遣し、ISC および Forum での討議や講演など、学会連合活動を行った。

2. 外国学会との協定更新

RINA との協力協定を更新し締結した。なお、協定を5年の有期とせず自動更新することとした。また、その他の外国学会とこれまでに締結された協定をチェックし、あらたな協力協定を締結した。

3. 国際対応

国際的な活動に対応するため下記の委員会等を開催した。

JTTC 委員会：ITTC 対応 (船舶性能に関わる調査研究)

委員数：柏木正委員長ほか31名

委員会の開催状況：

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第17回	2011.6.3	東京大学	16名	7件
第18回	2011.10.21	神戸大学	18名	5件
第19回	2012.2.8	九州大学	19名	9件

実施事項：

- ・第27期ITTC委員の選出
- ・第27期ITTC実施内容ならびに進捗状況の確認

JSSC 委員会：ISSC 対応 (船体構造と安全性に関わる調査研究)

委員数：藤久保昌彦委員長ほか20名

回	期日	場所	出席者数	発表等件数
第20回	2011.5.10	福岡県中小企業振興センター	10名	14件

実施事項：

- ・委員長の交代
- ・ISSC2012 技術委員会に関する情報交換

【6】シンポジウム等の開催

1. 海事三学会合同第2回「超省エネ船シンポジウム」

ー 燃料5割削減に向けた取り組み ー

期日：平成23年7月13日

場所：コクヨホール（東京 品川）

日本マリンエンジニアリング学会，日本航海学会と合同で2007年に続く第2回の超省エネ船シンポジウムを開催した。海事関係者の広い分野から参加者が集い，燃料5割削減のための様々な技術開発について発表と議論を行った。

参加人数：208名，講演9件，パネル討論

2. 第22回海洋工学シンポジウム

期日：平成23年8月2日～3日

場所：日本大学駿河台キャンパス

共催：日本海洋工学会

東日本大震災のため3月の開催を延期して開催した。海洋再生可能エネルギー，海底資源，海洋空間利用など多様な分野で多数の論文が発表された。

参加人数：235名，基調講演2件，発表論文107件

3. シンポジウム「大地震・大津波に備えて～海からの視点で考える～」

期日：平成23年10月31日

場所：神戸国際会議場（神戸市）

共催：テクノオーシャン・ネットワーク，海洋開発研究機構，港湾空港技術研究所，関西海事教育アライアンス。

東日本大震災の発生を受けて，15年前に阪神・淡路大震災を経験した関西地区において，その時の経験や提言が活かされたか，今後の備えはどうあるべきかを，関係団体とも協力して考える一般市民向けシンポジウムを開催した。

参加人数：400名，講演10件，パネル討論

4. 第1回世界船舶海洋工学フォーラム

First World NAOE Forum, "Technical Challenges for Ship Energy Efficiency toward 2020"

期日：平成23年11月25日

場所：千里阪急ホテル（大阪府豊中市）

国際的な課題である船舶の省エネルギー・環境負荷低減等を，船型，機関，運航の3分野から内外の技術者・研究者・関係者で議論するフォーラムを開催した（日本財団助成事業）。

参加人数：164名，基調講演1件，3セッションでの講演9件と討議，ポスターコンテスト，研究交流会

5. シンポジウム「大震災からの復興と備え～船舶海洋工学からの視点で～」

期日：平成24年3月5日

場所：学士会館（東京 千代田区）

参加人数：87名，講演10件，パネル討論

東日本大震災特別検討委員会での造船業・水産業の復興，浮体の活用，津波と船舶，海洋エネルギーの活用など各分野での検討結果を発表し，学会としての提言を検討するパネル討論を行った。

【7】共催および後援

表1-3，表1-4のとおり関連学協会の講演会・シンポジウム等に共催および後援を行った。また，45件の協賛を行った。

表1-3 共催

期日	名称	共催	開催場所
2011.10.6～8	5 th East Asian Workshop for Marine Environments	East Asian Network for Marine Environments	東京大学 柏キャンパス
10.12～14	第7回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム	日本学術会議 土木工学・建築学委員会	日本学術会議講堂
10.19～21	第55回材料工学連合講演会	日本学術会議 材料工学委員会	京都教育文化センター
2012.3.7～9	第61回理論応用力学講演会	日本学術会議	東京大学 生産技術研究所
7.5～6	安全工学シンポジウム2012	日本学術会議	日本学術会議講堂
10.29～30	第56回材料工学連合講演会	日本学術会議	京都教育文化センター
11.23～24	第16回キャビテーションに関するシンポジウム	日本学術会議	金沢工業大学

表1-4 後援

期日	名称	主催	開催場所
2011.5.19～21	バリシップ2011	UBM ジャパン	今治 テクスポート今治
11.29	原子力構造機器の材料，設計，施工，検査，維持に関する講習会	日本溶接協会	東京 化学会館

【8】支部活動

1. 東部支部

(1) 東部支部秋季講演会の開催

期日：平成23年11月15日

場所：タワーホール船堀（東京都江戸川区）

参加人数：153名，懇親会53名

特別講演1件，一般講演48件，オーガナイズド・セッション14件

(2) 第1回ワークショップの開催

「我が国の海洋資源開発について～天然ガスを例にして～」

期日：平成23年12月15日

場所：東京大学 武田ホール

参加人数：56名，懇親会39名

(3) 第2回ワークショップの開催

「天然ガス燃料船の早期実用化に向けて」

日時：平成24年2月13日

場所：東京大学生産技術研究所 コンベンションホール

参加人数：107名，懇親会43名

(4) 東部支部構造研究会

回	期日	場所	出席者数	講演数
第24回	2011.04.20	横国大	31名	4件
第25回	2011.07.06	土木研究所	25名	2件
第26回	2011.10.25	三井造船本社	28名	4件
第27回	2012.01.17	ユニバーサル造船	26名	4件

2. 関西支部
- (1) 関西支部秋季講演会の開催
 期日：平成23年11月8日
 場所：神戸市産業振興センター（神戸市）
 出席者：延べ149名
 内容：招待講演・一般講演31件，オーガナイズド・セッション1テーマ10件，ポスターセッション9件。
- (2) 特別講演会の開催
 期日：平成24年1月27日
 場所：神戸クリスタルホール（神戸市） 出席者：60名
 題目：世界のクルーズの現状と日本の展望
 緊急報告「11万GTコスタ・コンコルディア」の転覆沈没事故分析」
- (3) 関西支部シンポジウムの開催
 期日：平成24年3月15日
 場所：新大阪丸ビル別館 参加者：60名
 題目：深海底鉱物資源開発への期待
 講演3件およびパネルディスカッション
- (4) KFR（関西船舶海洋流体力学研究会）
 第314回例会（平成23年11月18日）
 場所：大阪大学中之島センター 出席者：33名
 第315回例会（平成24年1月20日）
 場所：大阪府立大学学術交流会館 出席者：16名
 第316回例会（平成24年3月16日）
 場所：大阪大学中之島センター 出席者：39名
- (5) KSSG（関西船体構造研究会）
 第1回（平成23年6月30日）
 場所：大阪大学GSE コモンイースト 出席者：18名
 第2回（平成23年10月19日）
 場所：和伸工業美原工場 出席者：21名
 第3回（平成23年12月12日）
 場所：新大阪丸ビル 出席者：18名
 第4回（平成24年3月6日）

- 場所：新大阪丸ビル 出席者：21名
- (6) 関西シニア海事研究会
 総会（平成23年7月16日）
 場所：神戸クリスタルホール 出席者：51名
3. 西部支部
- (1) 西部支部秋季講演会の開催
 期日：平成23年11月1日～2日
 場所：シーモールパレス（下関市）
 参加人数：104名，懇親会63名
 一般公演33件，ポスターセッション7件
- (2) 西部支部シンポジウムの開催
 「船舶からの大気汚染防止とCO2排出削減に関するシンポジウム」を開催した。
 期日：平成23年12月12日
 場所：九州大学西新プラザ
 参加人数：49名，懇親会33名
- (3) 西部支部構造研究会
- | 回 | 期日 | 場所 |
|------|-----------|-------------------|
| 第19回 | 2011.5.10 | ホテルニュータング（長崎市） |
| 第20回 | 2011.9.13 | チサンホテル広島（広島市） |
| 第21回 | 2012.1.17 | アルカス SASEBO（佐世保市） |
- 講習会：「異業種に学ぶ最先端数値シミュレーション技術」
 期日：平成24年3月13日
 場所：広島大学東広島キャンパス工学部
 参加人数：39名，懇親会27名
- (4) 西部支部性能研究会
 西部支部性能研究会講演会の開催
 期日：平成24年1月11日
 場所：九州大学工学部船舶海洋システム工学教室
 参加人数：44名

II 啓発・広報事業

【1】能力開発センター

1. 能力開発センター運営委員会
 委員数：大和裕幸委員長ほか5名
 能力開発センターを構成する技術者資格支援委員会，CPD委員会，大学等教育支援委員会，教科書編纂委員会の活動を推進した。
2. 技術者資格支援委員会
 委員数：八木光委員長ほか1名
 技術士補（技術士第1次試験）の資格取得のための講習会を開催した。技術士一次試験の専門科目（機械とシステム，浮体の力学，計測・制御，材料・構造）について4名の講師による講習を行った。
 期日：平成23年6月2日～3日
 場所：学会会議室
 共催：日本マリンエンジニアリング学会，日本造船工業会
 参加人数：5名
3. CPD委員会
 委員数：新宅英司委員長ほか4名
 継続的能力開発（CPD）ポイント蓄積システムの運用を行った。また効率的な運営改善を検討すると共に，他学会との協調

を考慮しながらCPDポイント制度の普及に努めた。

4. 大学等教育支援委員会
 委員数：鈴木英之委員長ほか6名
 日本技術者教育認定機構（JABEE）に協力し船舶海洋系大学の教育プログラムのJABEE認定に向けた支援を行った。
5. 教科書編纂事業
 委員数：池田良穂委員長ほか59名
 日本財団の助成のもと，主に造船所の若手技術者や学生のための基本的な教科書を編纂する3か年プロジェクトの3年目として，船体構造（応答編），船舶性能設計，海洋開発，船体運動（耐航性能初級編）の4冊の編纂を行った。また出版社を選定し「船舶海洋工学シリーズ」として出版を開始した。平成23年度に発刊したのは以下の3冊である。
- ① 船舶算法と復原性
 - ② 船体抵抗と推進
 - ⑥ 船体構造－構造編－

【2】若手研究者海外派遣事業

研究活動の推進および海外研究者との交流ネットワーク構築を目的として，若手研究者・技術者の海外派遣内規に基づいて

公募を行い、3名の派遣予定者を選考した。

【3】海洋教育推進活動

1. 海洋教育推進委員会

委員数：小林正典委員長代行ほか47名

(1) 委員会の開催

運営委員会と支部委員会を下記のとおり開催し、以下について審議した。

- ・海洋教育推進委員会の運営方針
- ・海洋教育フォーラム、海洋教育セミナーの計画・実施

期日	委員会名	出席者数
2011.5.10	第4回運営委員会	7
2011.9.7	第5回運営委員会	4
2011.9.24	第6回運営委員会	3
2011.11.2	第8回東部支部委員会	7
2011.11.28	第7回運営委員会	5
2011.12.6	第9回東部支部委員会	12
2012.2.21	第8回運営委員会	4
2012.3.30	第10回東部支部委員会	11

(2) 海洋教育フォーラムと海洋教育セミナーの開催

- ・第3回海洋教育フォーラム
「プロフェッショナルが語る海・船・魚の魅力」
期日：平成23年9月24日
場所：東京海洋大学越中島キャンパス越中島会館
プログラム：講演6件 参加者数：150名
- ・第6回東部支部海洋教育セミナー
「若年層に刺激を！船舶海洋工学教育の見える化は進むか」
期日：平成23年12月22日
場所：東京海洋大学品川キャンパス白鷹館
プログラム：講演12件 参加者数：80名
- ・西部支部海洋教育セミナー
「西部地区各機関の海洋教育活動の紹介」
期日：平成23年10月15日
場所：九州大学大学院総理工学府・大観荘
プログラム：研究室見学、活動紹介 参加者数：80名

(3) 海洋教育に関する広報活動

- ・海洋教育に関するイベントの紹介記事を学会誌に掲載した。
- ・海洋教育イベント情報をホームページに掲載した。
- ・「海の不思議箱」のコンテンツを追加・充実した。

(4) 海洋教育に関する企画

- ・実習船の利用に関連する海洋教育を調査した。
- ・海洋教育教材集第2巻を発行した。
- ・博物館等における海洋教育のアンケート調査を行った。
- ・船の科学館に協力して、「夏休み！海と船の工作ひろば 一家でもできる水の実験」を実施した。
- ・造船所見学会を実施した。
期日：平成23年8月28日
場所：住友重機械マリンエンジニアリング
参加者：50名
- ・企業で実施されている海洋教育活動の発表会を実施した。

2. 青少年啓蒙活動

(1) 東部支部おもしろ船教室

期日：平成23年8月12日
場所：横浜国立大学 参加者数：100名
プログラム：乗船体験ツアー、船のおもしろ実験

(2) 西部支部夏休みおもしろ船教室

期日：平成23年8月21日
場所：呉市海事歴史科学館「大和ミュージアム」

参加者数：30名

プログラム：講義、模型製作、競技会

(3) その他啓蒙活動

- そのほか下記の活動を共催・後援した。
- ・大阪大学「魚の泳ぎを科学する!! 魚の泳ぎと水中ロボット」(2011.7.18)
- ・海技大学校「海技丸」体験航海と講演会(2011.7.24,29)
- ・大阪府立大学青少年サマー・セミナー2011(2011.8.19)
- ・神戸大学体験型海洋セミナー「海と船に親しむ!!」(2011.8.20-21)
- ・第4回水中ロボット・フェスティバル(2011.10.30)
- ・水中ロボット・コンベンション in JAMSTEC '12(2012.3.10-11)

3. 一般向け講演会の開催

表2-1のとおり造船系9大学にて小学生から高校生を含む一般向けの講演会等を開催した。本事業は日本造船工業会より補助金を受けた。なお平成23年12月22日に東京海洋大学において開催した海洋教育セミナーにおいて、過去5年間の一般向け講演会の成果と今後の方針について総括した。

表2-1

大学	開催日/場所	参加者数
東京大学	平成23年11月27日 東京夢の島マリナー	50
東京海洋大学	平成23年6月5日 越中島キャンパス 平成23年7月29日 越中島キャンパス 平成23年11月13日 越中島キャンパス	80 80 80
横浜国立大学	平成23年7月19日 横浜国立大学キャンパス 平成23年8月27日 横浜国立大学キャンパス	67 61
東海大学	平成23年7月19日 東海大学清水キャンパス 平成23年8月6日、7日 アクトシティ浜松(浜松市) 平成23年8月25日 東海大学清水キャンパス	15 100 15
大阪大学	平成23年6月17日 兵庫県立長田高等学校 平成24年2月28日 大阪大学	62 28
大阪府立大学	平成23年12月9日 大阪府立大学大手前高校	26
広島大学	平成23年8月6日 山口県セミナーパーク 平成23年9月28日 高松第一高等学校 平成24年3月4日 岩国高校	120 80 38
九州大学	大震災の影響により中止	
長崎総合科学大学	平成23年11月26日 長崎県勤労福祉会館	218

4. 夏の学校

若手技術者の専門教育および交流のため2泊3日間の「夏の学校」を2回開催した。

(1) 性能・運動分野

期日：平成23年9月21～23日
場所：サノヤス・ヒシノ明昌「倉敷シーサイドホテル」
参加者数：45名

プログラム：特別講義 3 件，基礎講義 2 件

(2) 構造強度・材料溶接分野

期日：平成 23 年 10 月 8～10 日

場所：大阪府立青少年海洋センター

参加者数：50 名

プログラム：特別講演 1 件，講演 8 件

【4】会誌発行

1. 学会誌編集委員会

委員数：戸澤秀委員長ほか 57 名

・会誌発行の全体計画および調整のため幹事会を開催した。

回	期日	場所	出席者数
第26回	平成23.8.1	学会会議室	9
第27回	平成23.10.30	学会会議室	9
第28回	平成24.1.16	学会会議室	8
第29回	平成24.3.29	学会会議室	7

・特集等の企画・編集のため，各支部単位の編集委員会を随時開催した。

・会誌「KANRIN」第 36 号～第 41 号を編集，発行した。

2. 刊行

日本船舶海洋工学会誌「KANRIN」第 36 号から第 41 号までの 6 冊を表 2-2 のとおり刊行した。

表 2-2 日本船舶海洋工学会誌「KANRIN」発行

会誌・号・発行月	本文頁数	発行部数
KANRIN 第36号(平成23年5月)	49	5,250
KANRIN 第37号(平成23年7月)	123	5,300
KANRIN 第38号(平成23年9月)	76	5,200
KANRIN 第39号(平成23年11月)	66	5,200
KANRIN 第40号(平成24年1月)	70	5,200
KANRIN 第41号(平成24年3月)	66	5,200
計	450	31,350

【5】電子情報サービス

1. 情報管理委員会

・委員数：小柴幸雄委員長ほか 3 名

・今年度 5 回の情報管理委員会を開催した。

回	期日	場所	出席者数
第1回	2011.6.13	学会会議室	10
第2回	2011.8.8	学会会議室	9
第3回	2011.9.26	学会会議室	7
第4回	2011.12.5	学会会議室	7
第5回	2012.2.6	学会会議室	6

2. 主な実施事項：

・日本船舶海洋工学会ホームページの企画，管理

・メールニュースの運用

・ホームページの管理要領の検討

・会員サイトの創設

新たな会員サービスとして会員専用サイトをホームページに開設し，学会誌や論文集のバックナンバーを閲覧できるようにした。

【6】褒賞

日本船舶海洋工学会細則第 33 条から 36 条にもとづき，学会賞，船舶海洋技術賞等を授与した。

表 2-3 論文賞

<p>日本船舶海洋工学会賞 日本造船工業会賞 日本海事協会賞</p> <p>論文名：風力発電のための VLMOS の帆走性能と構造強度 一相互干渉影響の推定と胴型提案—</p> <p>受賞者：高木 健（東京大学） 平松 拓郎（新日鉄エンジニアリング）</p>
<p>日本船舶海洋工学会賞 日本造船工業会賞</p> <p>論文名：海上輸送システムにおける意思決定の確率論的評価 海上輸送シミュレーションによる工場間物流の外乱評価</p> <p>受賞者：松倉 洋史（海上技術安全研究所）</p>
<p>日本船舶海洋工学会賞 日本海事協会賞</p> <p>論文名：空気潤滑システムの開発と実船試験による検証</p> <p>受賞者：溝上 宗二（三菱重工業），川北 千春（〃） 小段 洋一郎（〃），高野 真一（〃） 日笠 靖司郎（〃），重永 亮介（〃）</p>

表 2-4 奨励賞（乾賞）

<p>論文名：波状前縁付き矩形翼周りの流れ解析</p> <p>受賞者：新井 洋（広島大学）</p>
<p>論文名：粒子法による水波計算のための透過境界条件の開発</p> <p>受賞者：柴田 和也（東京大学）</p>
<p>論文名：Strength and deformability of corroded steel plates under quasi-static tensile load</p> <p>受賞者：Md Mobesher Ahmmad</p>

表 2-5 著書・開発・発明賞

<p>日本船舶海洋工学会賞</p> <p>著書：「海洋底掘削の基礎と応用」</p> <p>受賞者：日本船舶海洋工学会海中技術研究委員会：代表田村兼吉</p>
<p>開発名：「船型開発用回流水槽の開発」</p> <p>受賞者：松井 志郎（西日本流体技研） 川島 敏彦（水産工学研究所）</p>
<p>開発名：「錘上下移動型新形式アンチローリングシステムの開発」</p> <p>受賞者：平山 次清（横浜国立大学），柿添 光治（〃） 平川 嘉昭（〃），高山 武彦（〃），岡田 尚樹（〃）</p>

- 平成 23 年度定時総会において，表 2-3 のとおり日本船舶海洋工学会賞・日本造船工業会賞・日本海事協会賞を授与した。
- 平成 23 年度定時総会において，第 35 回船舶海洋技術賞（吉識賞）が大坪英臣君に授与された。
- 平成 23 年度定時総会において，表 2-4 のとおり日本船舶海洋工学会奨励賞（乾賞）を授与した。
- 平成 23 年度定時総会において，表 2-5 のとおり日本船舶海洋工学会賞（著書・開発等）を授与した。
- 船舶海洋系大学および大学院（修士課程）の卒業者の中から成績優秀な者に表 2-6 のとおり，奨学褒賞を授与した。
- 商船高等専門学校等の卒業者の中から成績優秀な者に表 2-7 のとおり，奨学褒賞を授与した。
- 工業高等学校の卒業者の中から成績優秀な者に表 2-8 のとおり，奨学褒賞を授与した。
- 住田正一海事技術奨励賞に当会より吉田宏一郎著「海洋構造物の基礎」を推薦し受賞した。

表 2-6 奨学褒賞 (大学, 大専)

学校名, 学科名	受賞者
東京大学 工学部システム創成学科 大学院工学系研究科システム創成学専攻 新領域創成科学研究科環境システム学専攻	玉井 佑 網川 響吾 佐藤 慎一
横浜国立大学 工学部建設学科 大学院工学府システム統合工学専攻	池田 浩亮 中澤 洋介
東京海洋大学 海洋工学部海事システム工学科 海洋工学部海洋電子機械工学科 海洋工学部流通情報工学科 海洋科学技術研究科海運システム学専攻	幕田 加奈子 竹安 公博 前野 いづみ 岩切 敬晃
神戸大学 海事科学部海事技術マネジメント学科 海事科学部海洋ロジスティクス科学科 海事科学部マリンエンジニアリング学科 海事科学研究科修士課程	関 航 塔鼻 裕也 中村 梓乃 飯山 貴史
大阪大学工学部 地球総合工学科船舶海洋工学科目 大学院工学研究科地球総合工学専攻	木村 亮太 北本 理紗
大阪府立大学工学部 海洋システム工学科 大学院工学研究科航空宇宙海洋系専攻	宮本 修吾 西原 祥貴
東海大学海洋学部 船舶海洋工学科	モハマト カイル ハコ ヒシノ モハマト ノル
広島大学工学部 第四類輸送機器環境工学プログラム 大学院工学研究科輸送環境システム専攻	萩尾 宏則 徳元 大志
九州大学工学部地球環境工学科 船舶海洋システム工学コース 大学院工学府海洋システム工学専攻 総合理工学府大気海洋環境システム学専攻	有松 征太郎 奥村 義隆 南 匠弥
長崎総合科学大学工学部船舶工学科 大学院工学研究科生産技術学専攻	松崎 昌英 宇治野 史人
海上保安大学校 本科第一群 本科第二群	菊池 宙心 藤井 謙征
海技大学校 海上技術コース (航海) 海上技術コース (機関専修)	門屋 康平 川渕 大輔

表 2-8 奨学褒賞 (高等学校)

学校名	受賞者
山口県立下関中央工業高等学校	小倉 奈央
高知県立須崎工業高等学校	藤原 滉平
長崎県立長崎工業高等学校	渡瀬 文弥

【7】シップ・オブ・ザ・イヤー2010

平成23年5月31日, シップ・オブ・ザ・イヤー2010の応募作品の発表会と選考会が実施され, 選考委員会において下記作品が各賞に選定された。7月22日に海運クラブにおいて, 受賞作品の表彰式を行った。

- ・シップ・オブ・ザ・イヤー2010: CITY OF ST. PETERSBURG
- ・特殊船部門賞: YAMATAI / YAMATO
- ・漁船・作業船部門賞: 第二ふじ丸
- ・小型客船部門賞: らいちよう I

表 2-7 奨学褒賞 (商船高等専門学校)

学校名	受賞者
弓削商船高等専門学校 商船学科 航海コース 商船学科 機関コース	古江 篤 浪切 聡史
大島商船高等専門学校 商船学科 航海コース 商船学科 機関コース	末永 智之 中野 勝允
富山高等専門学校 商船学科 航海コース 商船学科 機関コース	大江 俊洋 松村 祐治
鳥羽商船高等専門学校 商船学科 航海コース 商船学科 機関コース	岩下 信瑛 濱口 芽以
広島商船高等専門学校 商船学科 航海コース 商船学科 機関コース	竹迫 靖規 橋本 翔太

【8】広報活動

学会紹介パンフレットを2000部増刷し, 会員拡大のためのPRおよび広報活動を行った。

【9】支部活動

- 東部支部
 - 若手異業種交流

日時: 平成23年4月22日
場所: 東京大学 本郷キャンパス
参加人数: 21名
東部支部の若手メンバーのネットワーク形成支援の一環として若手交流会を実施した。
 - 若手優秀講演の表彰

期日: 平成23年11月15日
場所: タワーホール船堀 (東京都江戸川区)
東部支部秋季講演会において若手の優秀な講演4件を表彰した。
 - メールニュースの発行

支部メールニュース No.36~38号を発行した。

2. 関西支部

- 若手技術者研修会

委員数: 長谷川会長以下11名

 - 第1回 見学および講演

期日: 平成23年6月22日 出席者: 7名
場所: キャタピラー・ジャパン明石事業所
三菱重工業神戸造船所
 - 第2回 見学および講演

期日: 平成23年6月23日 出席者: 7名
場所: 三菱重工業神戸造船所
 - 第3回 見学

期日: 平成23年7月15日 出席者: 7名
場所: 今治造船丸亀事業本部・川崎重工業坂出工場
 - 第4回 見学

期日: 平成23年9月6日 出席者: 6名
場所: サノヤス・ヒシノ明昌水島製造所
三井造船玉野工場
 - 第5回 見学

期日: 平成23年12月15日 出席者: 7名

- 場所：ユニバーサル造船津事業所・本田技研工業
- (2) 造船資料保存委員会
委員数：内藤委員長以下 22 名
第 1 回 (平成 23 年 5 月 28 日)
場所：神戸大学海事科学部 2 号館 出席者：15 名
第 2 回 (平成 24 年 2 月 24 日)
場所：神戸大学海事科学部 2 号館 出席者：14 名
- (3) 支部長賞表彰
・支部長賞
佐田国健治
「若手技術者研修会の企画・運営」
世良亘，加賀正人，辻本勝，片山徹
「流体力学関連学生研究組織 KFR-Jr の設立」
・支部長賞(奨励) 最優秀賞
泉 卓志「平板摩擦抵抗に与える表面粗度影響」
・支部長賞(奨励) 優秀賞
内海聖恵「海底近傍における硫化水素濃度の計測手法確立」
北本理紗「流体力学データベースを基にした水中ロボット設計支援システムの構築」
- (4) セミナー・講習会
海事産業説明会
期日：平成 23 年 12 月 10 日 場所：大阪産業創造館
題目：変容する海事社会：2050 年を考える
就職希望の学生向けに海事産業説明会を開催した。
参加者：164 名 参加団体：20 団体

- (5) 海岸清掃
期日：平成 23 年 9 月 25 日
場所：神戸市須磨海岸 参加者：20 名
- (6) 学生会員募集
学生会員勧誘のための学会紹介パンフレットを製作し、学生会員の拡大を図った。
3. 西部支部
(1) 優秀講演の表彰
西部支部秋季講演会において優秀講演賞 4 名，ポスターセッション最優秀賞 1 名および優秀賞 2 名を表彰した。
(2) 広報編集委員会
回 期日 場所
第 14 回 2011.4.7 九州大学創造パビリオン
第 15 回 2011.10.4 九州大学 21 世紀交流プラザ
第 16 回 2012.2.27 九州大学 21 世紀交流プラザ
このほか随時，電子メールによる連絡等で学会誌の企画・編集に関わる件およびメールマガジンに関わる件を審議した。
(3) 電子情報委員会
メールによる連絡で関連課題の審議を行った。
(4) 広報活動など
メールマガジン第 35 号～第 40 号を配信した。

III 事務報告

【1】 役員等

1. 役員

平成 23 年度定時総会において以下の理事，監事が選任された。
また第 2 回理事会において理事の職務分担を決定した。

理事(会長)	谷口 友一	理事(広報)	佐藤 功
理事(副会長)	大和 裕幸	理事(庶務)	中村 容透
理事(副会長)	瀬崎 良明	理事(財務)	高品 純志
理事(副会長)	新開 明二	理事(企画)	荒井 誠
理事(企画)	田中 康夫	理事(編集)	戸澤 秀
理事(研究)	重見 利幸	理事(情報)	小柴 幸雄
理事(学術)	柏木 正	監事	木下 健
理事(国際)	深沢 塔一	監事	珠久 正憲
理事(学術)	安川 宏紀	監事	蛭田 啓一

2. 代議員

平成 23～24 年度の代議員は下記のとおりである。

青柳 彰	青山 和浩	秋山 章	浅野 富夫
荒井 誠	有坂 俊一	池上 国広	池淵 哲朗
今出 秀則	岩崎 泰典	岩下 英嗣	梅本 勝弥
浦 環	太田垣由夫	大塚 耕司	大坪新一郎
影本 浩	影山 和郎	柏木 正	梶原 宏之
加戸 正治	加藤 直三	梶田 剛	河地 三郎
河部 香	川村 恭己	木内 大助	北村 徹
北村 充	木下 健	経塚 雄策	倉持 貴好
小柴 幸雄	塩谷 茂明	重見 利幸	篠田 岳思
慎 燦益	新開 明二	鈴木 和夫	鈴木 英之
鈴木 克幸	瀬崎 良明	瀬戸 秀幸	高木 健
高品 純志	武田 和彦	武正 文夫	田中 康夫
谷澤 克治	田村 兼吉	坪川 毅彦	土井 康明

徳留 健二	戸田 保幸	中村 昌彦	並川俊一郎
西尾 茂	西山 五郎	仁瓶 寛太	野瀬 幹夫
橋本 州史	長谷川和彦	馬場 信弘	深沢 塔一
藤久保昌彦	藤田 重友	藤本由紀夫	古川 芳孝
宝田 雄次	穂森 繁弘	堀井久寿雄	松本光一郎
松本 俊之	宮田 秀明	宮本 修治	村上 彰男
安川 宏紀	安澤 幸隆	山口 悟	山崎 哲生
山田 久行	大和 裕幸	横田 健二	吉川 孝男
芳村 康男	内野栄一郎		

【2】 会合

1. 定時総会

平成 23 年度(第 116 期)日本船舶海洋工学会定時総会を出席者 72 名(内書面による議決権行使 45 名，代理人による議決権行使 1 名，定足数 44 名)のもとに下記のとおり開催し，平成 22 年度(第 115 期)事業報告(報告事項)および収支決算報告を審議して可決し，また平成 23～24 年度の役員(理事および監事)を選任した。

期日：平成 23 年 5 月 19 日 13:00～14:00

場所：福岡県中小企業振興センター(福岡市)

議事：

- 1) 平成 22 年度(第 115 期)事業報告，決算報告
- 2) 平成 23～24 年度役員選任

2. 理事会

平成 23 年度(第 116 期)第 1 回理事会

日時：平成 23 年 4 月 27 日 13:30～17:20

場所：日本船舶海洋工学会 会議室

出席：理事 11 名， 監事 3 名， 事務局 2 名
 欠席：理事 4 名
 主要議事：
 (1) 平成 22 年度事業報告， 決算報告の審議
 (2) 平成 23 年度事業計画， 予算修正の審議
 (3) 将来ビジョン検討委員会報告に関する審議
 (4) 世界船舶海洋工学フォーラムの計画に関する審議
 (5) 東日本大震災復興への支援方策の検討

平成 23 年度（第 116 期）第 2 回理事会

日時：平成 23 年 5 月 19 日 14:30～16:20
 場所：福岡県中小企業振興センター 会議室
 出席：理事 12 名， 監事 1 名， 事務局 2 名
 欠席：理事 3 名， 監事 2 名
 主要議事：
 (1) 会長， 副会長， 業務執行理事の選定
 (2) 東日本大震災に係わる学会提言に関する審議
 (3) 世界船舶海洋工学フォーラム開催に関する審議

平成 23 年度（第 116 期）第 3 回理事会

日時：平成 23 年 7 月 21 日 13:00～17:20
 場所：日本船舶海洋工学会 会議室
 出席：理事 14 名， 監事 3 名， 事務局 2 名
 欠席：理事 1 名
 主要議事：
 (1) 平成 23 年度収支予算の修正に関する審議
 (2) 世界船舶海洋工学フォーラム開催に関する審議
 (3) 東日本大震災に係わる対応に関する審議
 (4) RINA との協力協定に関する審議

平成 23 年度（第 116 期）第 4 回理事会

日時：平成 23 年 9 月 16 日 13:00～17:00
 場所：中央電気倶楽部 会議室
 出席：理事 12 名， 監事 1 名， 事務局 1 名
 欠席：理事 3 名， 監事 2 名
 主要議事：
 (1) 東日本大震災に係わる対応に関する審議
 (2) 世界船舶海洋工学フォーラム開催に関する審議
 (3) 特定目的引当金の取崩しに関する審議

平成 23 年度（第 116 期）第 5 回理事会

日時：平成 23 年 11 月 18 日（金）13:00～17:00
 場所：アクロス福岡 604 会議室
 出席：理事 13 名， 監事 2 名， 事務局 1 名
 欠席：理事 2 名， 監事 1 名
 主要議事：
 (1) 平成 23 年度収支中間報告
 (2) 世界船舶海洋工学フォーラム開催に関する審議
 (3) 内規の改訂に関する審議
 (4) 会員資格喪失該当者に関する審議

平成 23 年度（第 116 期）第 6 回理事会

日時：平成 24 年 1 月 20 日（金）13:00～17:00
 場所：日本船舶海洋工学会 会議室
 出席：理事 13 名， 監事 2 名， 事務局 1 名
 欠席：理事 2 名， 監事 1 名
 主要議事：
 (1) 平成 24 年度事業計画および収支予算案
 (2) 終身会員の推薦
 (3) 研究委員会に関する審議
 (4) 内規の改訂に関する審議
 (5) 若手研究者・技術者海外調査派遣に関する審議

平成 23 年度（第 116 期）第 7 回理事会

日時：平成 24 年 3 月 16 日（金）13:00～17:00

場所：中央電気倶楽部 会議室
 出席：理事 14 名， 監事 1 名， 事務局 1 名
 欠席：理事 1 名， 監事 2 名
 主要議事：

- (1) 平成 24 年度事業計画および収支予算に関する審議
- (2) 平成 24 年度学会賞等の選考に関する審議
- (3) 名誉会員・功労会員の推薦
- (4) 内規の改訂に関する審議

3. 東日本大震災特別検討委員会

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に鑑み，大和副会長を委員長とする特別検討委員会を設け，復旧・復興・備え・学会提言等を 5 回の委員会を通して検討を行った。

委員数：大和裕幸委員長ほか 13 名

実施事項：

- ・被災された会員への会費等の減免
- ・現地調査
- ・シンポジウム（2011.10.31，2012.3.5）の開催

【3】会員の異動

1. 会員数推移

平成24年3月31日現在，会員総数は個人会員4,495名，賛助会員156団体，計4,651となった。（表3-1）

表3-1 会員数推移

種 別	前期末 (平成23年 3月31日)	当期末 (平成24年 3月31日)	減員	増員	増減
正会員	4,265	4,170	212	117	-95
（内名誉会員）	(36)	(36)	0	0	0
（内功労会員）	(52)	(55)	3	6	3
（内終身会員）	(889)	(899)	43	53	10
（内シニア会員）	(111)	(106)	25	20	-5
学生会員	360	324	142	106	-36
賛助会員 特級	19	19	0	0	0
1 級	10	9	1	0	-1
2 級	12	12	2	2	0
3 級	119	116	5	2	-3
個人	1	1	0	0	0
合 計	4,786	4,651	362	227	-135

2. 功労会員の推薦

平成 23 年 5 月 19 日定時総会にて下記の 6 名を功労会員に推薦した。

井上 義行 青山 和浩 田中 圭
 竹川 正夫 太田垣由夫 荻原 誠功

3. 終身会員の推薦

第6回理事会において下記62名の終身会員への推薦が承認された。

安孫子 玲一郎 瀬戸 秀幸 浦部 吉雄 岩竹 民哉
 伊藤 健 瀬尾 明雄 大熊 雄二 岡田 利治
 石松 真司 高沖 達也 大塚 正 喜多 宏司
 石川 明男 谷田 宏次 大西 正 村主 公平
 飯野 暢 竹中 憲策 香島 英彦 谷 繁男
 恵美 洋彦 辻 憲彦 近藤 公雄 林 博之
 大川 豊 徳田 直明 渋谷 武 堀 龍明
 川口 喜昭 中山 幹夫 中野 賢一 松井 志郎
 川嶋 穰 林 和男 服部 哲二
 木本 陽一 福原 正彦 平林 茂樹

熊野 厚 松井 明男 堀田 正宏
 幸島 博美 正木 喬 間野 正己
 佐藤 和範 宮沢 多 深山 春生
 斎藤 敏郎 村山 正美 三芳 晃
 柴原 三朗 八木 光 山本 修
 菅原 一美 吉田 靖夫 Cheung Hun Kim
 Mariano-Diaz Luis Toshi-ichi Tachibana
 Cheng Jui-Shan Peter Jong Heul Hwang
 Kyu-Jong Cho Cheng-Ching Huang

【4】委員の委嘱

下記のとおり新たに委員を委嘱した。

1. 海洋教育推進委員会
松本 慎也, 松本 慎也, 武田 誠一, 寺田大介
2. 論文審査委員会査読委員
木村 詞明, 段 峰軍, 大森 拓也, 南二三吉, ツーラン・オスマン, 橋本博公, 竹本孝弘, 望月正人, 島貫弘志
3. 学会誌編集委員会
重光 健太郎, 植村 洋毅, 瀧口 信次, 黛 敏, 川合 崇, 中村 幹, 金子 健一, 竹村浩紀, 岩田知明, 折原秀夫
4. 能力開発センターCPD委員会
小川 剛孝
5. 能力開発センター教科書作成委員会
荒井 誠, 鈴木 英之, 佐藤 功, 戸澤 秀, 重見利幸
同 執筆WG7「船体構造(応答編)」
荒井 誠, 安澤 幸隆
同 執筆WG9「海洋開発」
鈴木 英之, 安澤 幸隆, 飯島 一博, 井上 俊司, 渡辺喜保, 正信聡太郎, 前田克弥, 神田雅光, 尾崎雅彦, 高木 健, 岡田真三, 松浦正己
同 執筆WG10「船体運動(初等編)」
池田良穂, 内藤 林, 慎 燦益, 梅田直哉
6. 国際企画委員会
深沢 塔一
同 国際学術協力部会
深沢 塔一, 松元 正志, 戸田 保幸, 梅本 勝弥, 山口 悟
同 国際基準部会
深沢 塔一, 高嶺 研一
7. 情報管理委員会
小柴 幸雄
8. 研究企画委員会
重見 利幸, 日夏 宗彦, 梅田 直哉, 藤久保 昌彦, 後藤 浩二, 石川 太郎, 尾崎 雅彦, 大塚 耕司, 中尾 洋一
同, 分野研究企画部会(性能・運動)
日夏 宗彦, 梅田 直哉, 長屋 茂樹, 溝上 宗二, 松田 秋彦, 戸田 保幸, 安東 潤, 西垣 亮
同, 分野研究企画部会(構造・強度, 材料・溶接)
藤久保 昌彦, 鈴木 克幸, 山下 洋一, 中森 隆一
同, 分野研究企画部会(工作)
石川 太郎, 水口 直, 伊達 正敬, 成松 久雄, 瀬戸 武雄, 町田 定信
同, 分野研究企画部会(設計・艤装)
石山 直
同, 分野研究企画部会(海洋工学・海洋環境)
今井 康貴, 尾崎 雅彦, 飯島 一博
同, 分野研究企画部会(情報技術)
中尾 洋一, 松村 卓哉, 山本 純平, 浜田 信郎, 長野 元睦, 竹藪直紀
9. 東日本大震災特別検討委員会

大和 裕幸, 重見 利幸, 坂下 広朗, 小林 英一, 田中 進, 山口 悟, 加納 敏幸, 村山 英晶, 松田 秋彦, 藤田 重友, 日野 圭, 鈴木 英之, 尾崎 雅彦, 松井 裕

【5】補助金等

1. 日本財団助成事業
 - 1) 世界船舶海洋工学フォーラムの開催(助成金260万円)
 - 2) 造船分野における技術者育成のための教科書編纂事業(助成金 800万円)
2. 業界補助金
 - 1) 当会の諸事業に対する補助金.
日本造船工業会より 175万円
日本海事協会より 40万円
 - 2) 一般向け講演会活動費
日本造船工業会より 150万円
 - 3) 世界船舶海洋工学フォーラムの開催支援金
日本海事協会より 130万円
ABS,BV,DNV,GL,LRより 50万円

【6】関連団体との協力

1. 日本学術会議
日本学術会議が主催する講演会等に共催した。
2. 日本工学会
PDE協議会の運用等に関連して日本工学会の事業に協力した。また, 事務研究委員会の活動に参画した。
3. 日本造船工業会
造船技術者社会人教育の事業, 技術士資格に関わる講習会等で日本造船工業会と連携を図った。
4. 海事三学会
日本マリンエンジニアリング学会および日本航海学会との連携を目的として会長懇談会等を行った。また, シンポジウムの企画, 合同表彰式, 技術者支援事業等で連携を図った。
5. 機械系関連学協会
機械系学協会会長懇談会等に参加し, 関連行事に関して連携を図った。

【7】規則

定例理事会において下記内規の改訂を決議した。

- ・会員管理に関する内規
- ・在外会員に関する内規
- ・会誌・論文集等の頒布に関する内規
- ・講演会に関する内規
- ・若手研究者・技術者の海外派遣に関する内規
- ・日本船舶海洋工学学会賞授賞に関する内規
- ・船舶海洋技術賞(吉識賞)に関する内規
- ・日本船舶海洋工学学会奨励賞(乾賞)に関する内規

【8】行政庁への提出

- 1) 平成23年6月22日付で内閣府公益認定等委員会に事業報告, 収支決算書を含む下記を提出した。
 - ・平成22年度(第115期)事業報告等に係わる提出書類
- 2) 平成24年3月26日付で内閣府公益認定等委員会に下記を提出した。
 - ・平成24年度(第117期)事業計画
 - ・平成24年度(第117期)収支予算書
 - ・平成24年度資金調達及び設備投資の見込に関する書類
- 3) 平成24年3月30日付で内閣府公益認定等委員会に「税額控除に係わる証明の申請」を提出した。

【9】名簿発行

日本船舶海洋工学会会員名簿（平成23年度版）を平成24年1月に発行した。

【10】支部会合

1. 東部支部

通常総会

期日：平成23年5月12日

場所：日本海事協会東京支部会議室

出席者：33名

運営委員会

委員数：大和裕幸支部長ほか14名

第1回（平成23年5月12日）

場所：日本海事協会東京支部会議室

主要議事：

- (1) 平成22年度(第7期)事業報告
- (2) 平成22年度(第7期)収支決算報告
- (3) 平成23年度東部支部事業計画
- (4) 平成23年度東部支部予算
- (5) 平成23-24年度東部支部運営委員
- (6) 平成23-24年度東部支部会務委員の選出
- (7) 東部支部規則の一部改定
- (8) 東部支部若手交流会（第1回）の開催報告

第2回（平成23年6月20日）

場所：学会会議室

主要議事：

- (1) 平成23年度 東部支部活動方針
- (2) 平成23-24年度 運営委員の役割分担
- (3) 平成23-24年度 会務委員
- (4) 秋季講演会の開催準備等
- (5) 第1回東部支部ワークショップの企画
- (6) 「東日本大震災に係る学会提言」の検討

第3回（平成23年7月14日）

場所：学会会議室

主要議事：

- (1) 造船所見学会の協力依頼
- (2) 東部支部秋季講演会の準備
- (3) 東部支部第1回ワークショップの開催計画
- (4) 東日本大震災対応検討会の報告

第4回（平成23年9月9日）

場所：学会会議室

主要議事：

- (1) 造船所見学会の実施報告
- (2) 東部支部ホームページの管理・運営
- (3) 東部支部第1回ワークショップ（案）
- (4) 東部支部若手交流
- (5) 東日本大震災特別検討委員会の報告

第5回（平成23年11月11日）

場所：学会会議室

主要議事：

- (1) 収支中間報告
- (2) 会員資格喪失者および削除者の確定
- (3) 秋季講演会の準備状況等
- (4) 平成24年秋季講演会の会場等について
- (5) 「学生向け海事産業へのお誘い」の開催中止
- (6) 東部支部第2回ワークショップの企画案
- (7) 震災に関するシンポジウムの報告
- (8) 日本船舶海洋工学会主催の国際会議招致の手順について
- (9) 講演会の英語化

第6回（平成24年1月13日）

場所：学会会議室

主要議事：

- (1) 平成24年度 東部支部事業計画
- (2) 平成24年度 東部支部収支予算
- (3) 平成23年度終身会員候補者
- (4) 東部支部秋季講演会の開催報告
- (5) 平成24年秋季講演会の開催日時と会場
- (6) 第1回東部支部ワークショップ開催報告
- (7) 第2回東部支部ワークショップの準備

第7回（平成24年3月9日）

場所：学会会議室

主要議事：

- (1) 平成24年度 東部支部収支予算（修正案）
- (2) 平成24年度東部支部通常総会の開催日程等
- (3) 第2回東部支部ワークショップの開催報告

東部支部会務委員会

委員数：井上委員長ほか15名

支部長を補佐し、支部の運営に関する諸事項を実施した。

第1回（平成23年5月12日）

第2回（平成23年7月1日）

第3回（平成23年9月2日）

第4回（平成23年11月2日）

第5回（平成24年1月10日）

第6回（平成24年3月2日）

2. 関西支部

定時総会

期日：平成23年5月13日

場所：三菱重工神戸造船所

出席者：53名

商談委員会

委員数：瀬崎良明支部長以下55名

期日：平成24年1月27日

場所：神戸クリスタルタワー 出席者：33名

主要議事：

- (1) 平成23年度事業進捗状況
- (2) 平成24年度事業計画(案)・予算(案)
- (3) 平成23年度予算執行状況
- (4) 支部長賞候補推薦

運営委員会

委員数：瀬崎良明支部長以下17名

第1回（平成23年4月21日）

場所：中央電気倶楽部 出席者：13名

主要議事：

- (1) 平成23年度事業計画・予算案
- (2) 支部長賞授賞審査委員会
- (3) 支部規則細則改定案
- (4) 平成24年春季講演会
- (5) 世界船舶海洋フォーラム
- (6) 研究委員会における設置研究会内連携に関する提案
- (7) 造船資料保存委員会の設置研究会への申請

第2回（平成23年5月13日）

場所：三菱重工神戸造船所 出席者：12名

主要議事：

- (1) 平成23/24年度役員・委員
- (2) 支部規則細則内規改定案
- (3) 世界船舶海洋工学フォーラム

第3回（平成23年7月15日）

場所：大阪大学コモンイースト 出席者：10名

主要議事：

- (1) 平成23年秋季講演会
- (2) 世界船舶海洋工学フォーラム
- (3) シンポジウム「大地震・大津波に備えて～海からの視点
で考える～」
- (4) セミナー・講習会の件
- (5) 海岸清掃
- (6) 関西支部HPの件

第4回（平成23年9月9日）

場所：中央電気倶楽部 出席者：14名

主要議事：

- (1) 平成23年秋季講演会
- (2) 平成23年度中間報告

第5回（平成23年10月14日）

場所：中央電気倶楽部 出席者：10名

主要議事：

- (1) 平成23年秋季講演会
- (2) 平成23年度中間報告
- (3) 平成24年度事業計画素案・予算素案
- (4) シンポジウムの開催
- (5) 新年特別講演
- (6) 支部長賞授賞審査委員の推薦

第6回（平成23年12月9日）

場所：大阪府立大学学術交流会館 出席者：13名

主要議事：

- (1) 平成24年度事業計画案・予算案
- (2) シンポジウムの開催
- (3) 新年特別講演
- (4) 支部長賞授賞審査委員の推薦
- (5) 平成24年秋季講演会(関西支部担当)予算案

第7回（平成24年1月27日）

場所：神戸クリスタルタワー 出席者：13名

主要議事：

- (1) 平成24年度事業計画・予算
- (2) 支部長賞候補推薦の応募状況

第8回（平成24年3月9日）

場所：中央電気倶楽部 出席者：13名

主要議事：

- (1) 平成24年度第2次予算案
- (2) 平成24年度支部定時総会
- (3) シンポジウムの開催
- (4) 海岸清掃
- (5) 平成24年度セミナー・講習会

関西支部会務委員会

委員数：箕浦幹事以下14名

支部長を補佐し、支部の運営に関する諸事項を実施した。

第1回（平成23年4月21日）

第2回（平成23年5月13日）

第3回（平成23年7月15日）

第4回（平成23年9月9日）

第5回（平成23年10月14日）

第6回（平成23年12月9日）

第7回（平成24年1月27日）

第8回（平成24年3月9日）

情報システム委員会

委員数：黒龍運営委員以下7名

期日：平成23年4月21日

場所：中央電気倶楽部 出席者：4名

授賞審査委員会

委員数：藤久保委員長以下7名

期日：平成23年4月21日

場所：中央電気倶楽部 出席者：3名

講演会実行委員会

委員数：山崎委員長以下22名

第1回（平成23年8月25日）

場所：大阪府立大学海洋会議室 出席者：15名

シンポジウム実行委員会

委員数：山崎委員長以下22名

第1回（平成23年11月8日）

場所：神戸市産業振興センター 出席者：15名

第2回（平成23年12月9日）

場所：大阪府立大学海洋会議室 出席者：15名

3. 西部支部

定時総会

期日：平成23年4月26日

場所：九州大学創造パビリオン セミナール室

議事：

- (1) 役員の承認
- (2) 第6期（平成22年度）事業報告および会計報告
- (3) 第7期（平成23年度）事業計画および予算審議
- (4) 西部支部規則一部改定の件

西部支部運営委員会

委員数：新開明二支部長ほか25名

第1回（平成23年4月26日）

場所：九州大学創造パビリオン セミナール室

主要議事：

- (1) 講演会実行委員会報告
- (2) 各種委員会等の名簿整備の件
- (3) 西部支部細則一部改定の件

第2回（平成23年7月27日）

場所：九州大学創造パビリオン セミナール室

主要議事：

- (1) 平成23年春季講演会の報告
- (2) 平成23年度事業計画の詳細について
- (3) 平成23年度西部支部予算修正の件
- (4) 西部支部秋季講演会について
- (5) 各種委員の任期について
- (6) 西部支部細則一部改定の件

第3回（平成23年11月1日）

場所：シーモールパレス エメラルドの間

主要議事：

- (1) 平成23年度事業報告（含状況報告・費用報告）
- (2) 平成24年度事業計画案（討議）

第4回（平成24年3月28日）

場所：九州大学創造パビリオン セミナール室

主要議事：

- (1) 平成23年度決算報告
- (2) 平成23年度事業報告
- (3) 平成24年度西部支部事業計画および予算案
- (4) World NAOE Forumの開催について